



公私雜報  
第八號

定價一匁



西垣文庫  
文庫 10  
7290  
8



特 文庫10  
7290  
8

伏稟

迷子まひご 欠落かひおち 落物おとしもの むろひ物 盗ぬすまじり物  
及び諸賣もの等々を多く廣く世に弘め或は  
問う便りを得たき事あり少しも遠慮あ  
く其もよろくの書林又を繪草子屋に事が  
を委しく書きたるしは遣として紙紙の速に  
出板しゅつばんしる四方に告げ知らせ申さるべく  
辰四月

公私雜報會社

西垣文庫



公私雜報第八號

慶應四年閏四月廿三日

○横濱新聞タイムスより抄出

第五月廿四日日本閏四月三日 我英國女王殿下の誕  
辰ありよつと英國海陸軍の兵士等ハ殘らば盛  
服を著る軍禮に從ひ祝ひをあり日方アサは正午に  
當る時よ及んご一齊に祝砲を放てを恰アツカモも好し  
此日ハ天氣好晴日光輝々麗々多う嗚呼天公由  
我君を惠まると欲同盟各國の公使等ハ盡く我等  
と歡びを同みしる正に自國の祝日は逢へるが

如く居留地の巨高等の戸を閉ぢ商ひを休む皆祭日の思ひを為せり

我聞く近日加賀會津仙臺南部及び其他北方の諸侯連署して王政一新の可あらざるを諫奏を  
と實は北方の諸侯の江戸を南方の兵を保多し  
むること成昔せざることを明らあり

近日當港に於て南方の旅荷物を送り返せとて  
ヘルマン船蹄ある蒸氣船を雇ふを多分南  
方の兵戦利ありとせざるよとせし退軍をる用意あり  
るゆ

英國の軍艦未だ兵庫大坂に碇泊せり其内サラ  
ミスにある軍艦は此二十七日我閏四月六日朝ハ  
ルリーパークス君を載せり歸る來り乗組の者  
上陸の後同日午後又ハ兵庫港に向ひて出帆せ  
る

○横濱布告

下は名記せる予テンマルカ國王殿下より  
其國のフニシユルゼ子ラルを命せり是を依  
之此旨を布告する者なり

千八百六十八年第四月廿七日我四月五日

於神奈川

バヒール印

○ <sup>ブリタニヤ</sup>不列顛特派公使兼大權ニニストル、ハルリ、  
エス、パークス、當閏四月朔日大坂行在所に參上  
し。

<sup>ミカド</sup>國帝殿下に拜謁し和親通商の國書を無滞呈上  
す。

○ 江戸表へ官軍としき出張の高田家  
人數は督府よりの達書

其藩不審の筋有之か、さき差出置ひ人數御用無

之のよ付勝手次第本國に可被引取の事

北陸道

閏四月

督府

榊原式部大輔殿

隊長中

○ 閏四月江戸市中の布告

諸藩國詰以來江戸商人の産業次第に薄く相  
成、當節の場合に至り彌衰微及び京坂其外諸  
國より出店罷在の巨商共々營業難お立無餘儀  
銘々歸國の手段も有之哉、相聞へ右様成行

うゝ江戸一般の疲弊に至り小前末々に至る迄  
 生計を失ひ追々離散の念をも生かざる實に歎  
 敷儀に付何れも右念慮不生様取續方の仕方  
 相立度尤も時勢の推し移るゝ随ひ商法をも改  
 革不致いそぐべし不相叶儀に付舊法に泥まら改  
 正の見込追々申立儀に勿論有之に付とも  
 先差向今日の取續方の仕法銘々一己の利潤に  
 不拘小前末々に至る迄得と衆議を尽し見込の  
 廣一定の上可申立儀事

○雑説

長崎の商人某よりの書状に先頃より人心鬼角  
 穩あゝ心配りし居に所此程よりカトリック派  
 と云キリシタン宗の事と付騒亂相萌し殆んど  
 一揆の模様にお成申に且右の儀は佛人も加  
 擔ひ多し居に様子より危し何より多せ御國の  
 一大事と奉存いと云云  
 閏四月十日曉小石川白山下伊勢又とつゝ質屋  
 の彰義隊の者と唱へ武士三人押し入る金借の  
 儀強談をいよび彼是の間取り内夜もら者近邊  
 の者追々聞知る各得物を提げ馳集るに三人

の内一人逃去を兩人を取押へし彰義隊屯所  
に引渡しし由右の如く町内約速に多し置い  
て若し亂妨りの有之は一番は打向ひひ者へ  
ハ為褒美金十兩第二番目の者はハ金五兩其次  
も何程々と取極め有之此度の塗師屋某ある者  
第一番の賞金を得又某あるりの第二の賞金を  
得其他功は随ひ夫々相當の手向くと得ある由  
實よりしき取極あり何率江戸町々よく相談  
しき場所が賞金を積み如此仕法は致し度也  
のあり○右兩人ハ彰義隊の者にて無之よし

○後の四月二日下總の中山は慎居る  
脱走兵の隊長ハ君言を傳へんとく  
行向ひあるは其曉は多があぬこ  
あまきまろろありひ玉の緒をとけとつ  
くあ言の葉もあし  
右ハ田安家は用人を勤むる人の由あり

○詠會津蠟燭

無名氏

照海彩虹百道長直從東北至西方問誰神巧能如  
此元是丹心一寸光

上總下総邊の戦争の御恭順の主意種々説得し  
り一度解兵し相成る由

中外新聞前集

此書の長為戦争の始末より徳川家政權を  
朝廷に歸し奉るまゝの事實を新聞様とし  
て集めたるものあり無盡蔵會社あり近日  
公許を得連續刊行あるべし

